

4 国立京都国際会館において2,500人規模の整備が進められている多目的ホールの、5,000人規模への拡張整備

創立50周年を迎えた国立京都国際会館において、国の英断により2,500人規模の整備が進められている多目的ホールについて、日本の文化振興・文化交流・世界への発信に向け、より一層大きな役割が期待されることから、次のとおり求めます。

提案・要望事項

2,500人規模の整備（平成28年着工・30年竣工予定）が進められている国立京都国際会館・多目的ホールの、5,000人規模への拡張整備

国立京都国際会館・多目的ホールの2, 500人規模から5, 000人規模への拡張整備

現 状 ◆国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	メイン会議場 収容人数	メイン展示場 面積
日本	国立京都国際会館	1,840 名	3,000 m ²
日本	福岡国際センター・マリメッセ	6,000 名	9,100 m ²
日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000 名	20,000 m ²
日本	東京国際フォーラム	5,000 名	5,000 m ²
韓国	コエックス会議・展示センター(ソウル)	7,000 名	10,000 m ²
中国	香港会議・展示センター	8,000 名	20,000 m ²
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000 名	12,000 m ²
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500 名	30,000 m ²

5千名が収容でき、それに見合う展示ができる多目的ホールが世界のスタンダード

現在の施設整備(2,500人規模)の概要

- ①主要室等
展示ホール(2,000 m²:2,500人規模)
- ②主なスケジュール
敷地調査:26年7月~12月
設 計:26年9月~28年2月
工 事:28年3月~30年6月(予定)



整備イメージ

課 題 ◆国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた国際会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
25	国際小児科学会	5,000人規模の会議スペース, 12,000 m ² の展示場	オーストラリア
25	国際腎臓学会	3,000人規模の会議スペース, 10,000 m ² の展示場	香港
25	世界肺癌学会	5,000人規模の会議スペース, 10,000 m ² の展示場	オーストラリア

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、更なる国際会議の受入れの増加が見込まれる中、2,500人規模ではスペース不足により開催が見送られる国際会議が今後更に増えていく見込み

〔日本・京都市における国際会議の開催件数〕

年	日本	京都市
26	2,590 件	202 件
27	2,847 件 (+9.9%)	218 件 (+7.9%)

<日本政府観光局による統計結果に基づく>

開催件数はいずれも過去最高を更新

5,000人規模の多目的ホールを整備することによる効果



国立の国際会議場としての責務と機能を十分に果たすため、「京都らしい設え」を施した国内唯一の施設を最大限にいかし、日本文化の神髄ともいべき京都において、国際会議を更に多く開催することにより、日本文化を一層世界に発信することが可能に!



**国際貢献の機会を増やし、国際社会における
日本の国力向上に大きく寄与することができる!**